

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス リトル・ピース			
○保護者評価実施期間	令和8年1月5日		～	令和8年1月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数)	19
○従業者評価実施期間	令和7年12月27日		～	令和8年1月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・毎日のミーティングと月に数回のミーティングを通じて、放課後等デイサービス計画（個別支援会議）や研修などを行う体制が確立されている。	・リラックスしながらミーティングを行うため、事業所側でお菓子和飲み物を数種類準備し、その中から自分の好きなものを食べながら飲みながらミーティングを開催している。	・「価値観を合わせるのではなく、職員それぞれの価値観を共有した上で、話し合いを通じて組織としての決定をしていく」という、アンガーマネジメント研修での学びも取り入れながらミーティングを開催していく。
2	・保護者面談の開催や、学校との前期・後期の連携会議の開催。また、相談支援事業所主催の担当者会議や地域自立支援協議会への出席などを通じ、情報の共有や連携が図られている。	・左記の時期以外にも必要に応じて各関係機関と連携をとり、情報の共有と連携を図っている。	・利用しているこどもの進路やご家庭の環境等への対応が必要と思われる場合は、学校、相談支援事業所、行政、保護者を交えた支援会議の開催を促していく。
3	・毎日行っている活動内容が豊富である。	・毎月のカレンダーに、その日全員で行う活動をイラストと文字で表記している。 ・活動の内容は11種類あり、「健康・生活」、「運動・感覚」、「認知・行動」、「言語・コミュニケーション」、「人間関係・社会性」を踏まえた活動内容となっている。	・毎日の活動以外にも季節の行事を行っているが、それらの活動をミーティング等で振り返りながら活動内容の充実を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・必要に応じて、こどもが個別の部屋を使用することが難しい。	・昭和41年新築の以前保育所だった建物を修繕して使用しているため、個別の部屋の確保は難しい。	・個別の部屋は確保できないが、パーティション等で個別の空間を作るなどの工夫をしている。
2	・第三者による外部評価を実施していない。	・職員の人数や日常の業務のため、第三者による外部評価の実施には至っていない。	・第三者による外部評価は今後の課題である。今できることとして、自己評価の結果を踏まえてサービスの質の向上と業務改善に取り組んでいく。
3	・放課後児童クラブや、地域のこどもと活動する機会がない。	・以前は地域のこどもたちとのイベントを企画していたが、コロナ禍以降は感染症等の不安などがあり、そのような機会を提供できていない。	・当事業所が設置されている地域の小学校と中学校には、特別支援学校分教室がそれぞれの校舎内に設置されている。そのため、施設を利用しているこどもたちは、地域のこども（児童・生徒）と交流する機会が担保されている。 ・当事業所としては、そのような機会が必要かどうかも含め検討していきます。